

頑張りが、“きちんと利益につながる”経営へ

北海道よろず 支援拠点 生産性向上 支援センター

残業が減らず
人が定着しない



原材料費の
上昇が利益を
圧迫している



飲食、小売
サービス業も！



非効率な業務を
見直したいが
何から
はじめれば？



設備や
ITシステムを
導入すべきか
迷っている

生産性向上の「プロ」が現場を訪問し、
次の一歩を一緒に考えます。

支援の流れ

STEP
1



電話・Webフォーム
からご相談・お申込
ください

STEP
2



お悩みやご要望を
踏まえ、現地に合う
サポーターを選定

STEP
3



現地を訪問し
支援を実施します
[無料]

STEP
4



支援後も定期的に
フォローします

本制度の概要や特長などは裏面をご覧ください

北海道よろず支援拠点 生産性向上支援センター

☎ 011-232-2014  <https://yorozu-hokkaido.go.jp/seisan/>



経済産業省
北海道経済産業局
Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry



<受託機関>
公益財団法人
北海道中小企業総合支援センター

制度の特長

01

生産性向上の「プロ」が支援

「今の現場に合った」
次の一歩をプロが
一緒に考えます

02

無料・複数回の 現場訪問

「相談に行く時間がない」
そんな心配は無用
サポーターが無料で
現場に伺います

03

補助金活用にも メリット

支援を受けることで、
省力化投資補助金
(一般型)の採択審査で
加点されます(予定)

04

よろず支援拠点内 での連携支援

様々な経営課題に
専門家が連携して
支援します

※よろず支援拠点は、中小企業・小規模事業者、創業予定者の経営上のあらゆる悩みを無料で相談できる、国が設置する相談窓口です。
売上拡大、起業、資金繰り、事業承継など、様々な経営課題に対して専門家が何回でも相談に対応し、解決まで寄り添って支援します。

制度の概要

利用対象者	北海道内の中小企業者等	支援回数(目安)	10回程度
支援専門家	生産性向上支援サポーター (5S、工程改善、省力化、デジタル化等の生産性向上支援や現場経験を豊富に有する者)		

支援テーマの例

 飲食業 - 調理工程改善による歩留まり向上 - 店内や調理場レイアウトの見直しによる作業効率の改善	 製造業 - ボトルネック工程の解消による生産効率改善 - ITを活用した業務の見える化	 小売業 - 在庫管理、受発注業務のデジタル化による業務効率改善 - 店内レイアウト見直しによる顧客動線の改善	 サービス業 - ITシステムを用いた予約管理の最適化 - 業務マニュアル整備によるサービス品質の向上	 建設業 - デジタル化による原価管理精度の向上 - 工程管理の可視化による稼働率向上
--	--	---	---	---

※支援テーマは一例です。他の業種・支援テーマについても広く支援が可能です。

<お問い合わせ先>



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター

ホームページ

<https://www.hsc.or.jp>



札幌本部

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル9階

TEL 011-232-2402

道南支部

〒040-0015 函館市梁川町5番10号 プライム函館EAST8階

TEL 0138-86-6695

十勝支部

〒080-0013 帯広市西3条南9丁目23番地 帯広商工会議所内

TEL 0155-67-4515

釧路支部

〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号 釧路商工会議所内

TEL 0154-64-5563

道北支部

〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内

TEL 0166-68-2750

日胆支部

〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号 室蘭テクノセンター内

TEL 0143-47-6410

オホーツク支部

〒090-0023 北見市北3条東1丁目25番地 北見経済センタービル5階

TEL 0157-31-1123